

第十回 滝川一益公を偲ぶ

長昌寺

能「船弁慶」
下平 克宏

申込方法

チラシ裏面の申込書に住所・氏名・電話番号を記載の上、FAXをお送りください。

令和7年

12月3日(水)

於・昌賢学園まえばしホール

前橋市南町3-62-1 (前橋市民文化会館)・大ホール

時間

午後6時00分開演

(午後5時00分開場)

入場料

S席：6,000円

A席：4,000円

始動!!

新作能『下天の夢』の
制作はじまる

新作小謡

下天の夢

長昌寺能10周年を記念して、滝川一益を追善する新作能を構想し、制作を進めています。内容は上野国(群馬県)を横軸(空間性)に、戦国の雄・織田信長、豊臣秀吉、柴田勝家らを縦軸(歴史性)にして、織田信長の四天王の一人である一益を主人公に、長昌寺、前橋、上野国、上野人礼賛するものとなります。今回は、作品の一部を小謡としてお披露目します。

仕舞…玉 鬘

狂言…鍋八撥 | 能……船弁慶

スマホde解説のご案内

当日、お手元のスマートフォンで、会場内で配布する二次元コードを読み取るだけで、生ライブ解説を無料でお楽しみいただけます。スマートフォン用のイヤホンが必要になります。イヤホン(スマートフォン用)の貸出は行っておりませんので、必ずお持ちください。



藤波 重彦



野村 萬斎



下平 克宏



大槻 崇充

【主催】長昌寺能運営委員会 公益財団法人前橋市まちづくり公社

【後援】前橋市教育委員会 前橋商工会議所 上毛新聞社 読売新聞前橋支局 毎日新聞社前橋支局 朝日新聞社前橋総局 産経新聞社前橋支局 東京新聞前橋支局 群馬テレビ 株式会社 エフエム群馬

番組

滝川一益公を偲ぶ 長昌寺能

18:00	挨拶	長昌寺能運営委員会 前橋市長	石原 栄一 小川 晶
第1部			
18:10	新作能解説	長昌寺住職 群馬地域学研究所	栗木 信昌 手島 仁
18:20	新作小謡	下天の夢	下平 克宏
18:30	仕舞	玉鬘	大槻 崇充
		地謡	川原 恵三 新江 和人 田口 亮二 武田 崇史
第2部			
19:00	狂言	鍋八撥	鍋売り 野村 萬斎 目代 高野 和憲 姑 野村 裕基
(休憩 15分)			
19:40	能	船弁慶 前後之替 早装束 静御前・知盛の怨霊	下平 克宏 義経 松山 統美 弁慶 則久 英志 従者 野口 能弘 従者 御厨 誠吾 船頭 野村 萬斎 笛 藤田 貴寛 小鼓 幸 正昭 大鼓 安福 光雄 太鼓 大川 典良 後見 武田 尚浩 松山 隆之 地謡 藤波 重彦 藤波 重孝 北浪 貴裕 川原 恵三 小檜山浩二 新江 和人 金子 聡哉 木原 康太
20:50	謝辞	音声ガイド 長昌寺住職	武田 崇史 栗木 信昌

長昌寺

群馬県能発祥の地

芳林山栄興院長昌寺(曹洞宗)は延徳元年(1489)、長野方業(まさなり)が厩橋城を築くとともに城内に大洞禅師を開山として創建した寺院。天正9年(1581)には火災で焼失し、城主の北条(きたじょう)高広(たかひろ)が現在地に再建。翌10年、武田氏を滅ぼした織田信長が関東管領として滝川一益を派遣すると、一益が厩橋城主となった。一益は支配下の諸将を城内に招き「玉鬘」を舞って見せ、長昌寺境内に本格的な能舞台をつくり、能興行を行った。これが記録に残る上州＝群馬県での初めての能である。

神流川合戦で敗北した武將を長昌寺で供養し、よく戦った武將をねぎらい、別れの宴を開いた時も、能を演じ、能「羅生門」の一節を、一益と上州の武將が謡いあったという。



あらすじ

なべやつぱち
鍋八撥

浅鍋売り^{かつこ}と鞆鼓^{もくだい}売り^{かつこ}とが、新市の一の店を争い、互いにゆずらないので、目代が仲裁に入り、棒振り^{ぼうぶり}と鞆鼓^{もくだい}打ちで勝負をさせます。しかし決着がつかず、二人は鞆鼓^{もくだい}を相打ちすることになります。そして、鞆鼓^{もくだい}売りが水車をして颯爽と引込むと、鞆鼓^{もくだい}売りもそのまねをしますが、い、身体を使った軽妙なやりとり、アクロバチックな演技に注目です。そして最後には思わぬ展開が待ち受けます。



狂言「鍋八撥」

ふなべんけい
船弁慶

前後之替 早装束

頼朝に追われた義経一行は、都を追われ、西国へ落ち延びようとしています。静御前は義経を慕い追って来ますが、弁慶の計らいで帰すこととなり、別れの酒宴が催されます。やがて一行は大物の浦から船で海上に出ると、平家一門の亡霊が浮かび出でます。なかに平知盛の怨霊が、恨みを晴らさんと薙刀を振るい、義経に襲い掛かります。然し弁慶の必死の祈祷により、悪霊は退散するのです。

前後之替の小書(特殊演出)により、前場では静が情感豊かな舞を舞い、義経との別れの悲哀に満ちた場面が演じられ、また後半では一転して知盛の激しく躍動的な動きをみせ、前場とは対照的なダイナミックな演技が繰り上げられます。また、早装束の小書により、船頭が瞬時の早変わりをみせます。

案内



※駐車場は詰め込み駐車となります。駅北口パークアンドライド(有料)をご利用ください。

申込書 FAX.027-280-5744
問合わせ先 ぐんラボ! 制作室 027-280-5722

住所	〒		
氏名			
電話番号	FAX 番号		
チケット申込み枚数	S 席 6,000 円	枚	A 席 4,000 円 枚

◎問合わせ先 ☎ 027-280-5722 ぐんラボ! 制作室
◎メールでの問合せ E-mail:a-kikaku@mail.wind.ne.jp 朝日企画(株)